

岩国小学校だより

令和3年(2021年)1月29日

2月号

岩国市立岩国小学校

暖冬が続いていたこの1～2年と打って変わって、まとまった雪が降り、厳しい冷え込みのあった今年の年明けでした。久しぶりに道路まで白くなった雪景色を見て、昔ながらの冬らしさを感じました。

さて、以前にも書きましたように、今年度は岩国小学校の開校150周年にあたります。当初は来賓等を招いて記念式典を行いたいと考えていましたが、今のコロナ禍にあっては開催できないため、3月ごろに、校内のみで児童を対象に150年を振り返るような内容の会を持ちたいと考えています。

過去の資料を見ていると、この地域のたくさんの人々が、熱い思いをもって岩国小学校をつくり発展させてこられたことがわかります。子どもたちが、先人の思いを引き継ぎ、ふるさとに誇りをもって成長してくれるよう願います。

<岩国小の始まり>

岩国小学校のルーツは、江戸時代の終わり、1847年に、当時の岩国の藩主、吉川経幹公が、家臣の教育のためにつくった「養老館」です。

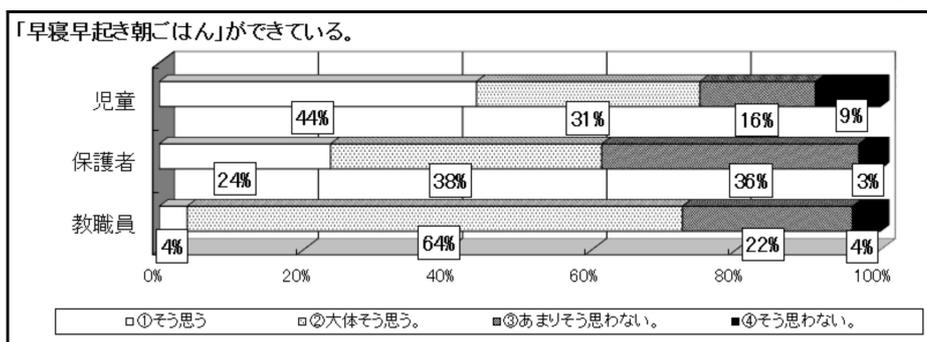
その後、明治になって間もなく、新しい学校の制度が始まりました。このとき、1871年2月2日、ちょうど150年前に、それまでの学校をあらためて「錦見小学」としてスタートしたのが、今の岩国小学校のはじまりとされています。

学校評価アンケートの結果から

12月に本年度2回目の学校評価アンケート（児童・保護者・教職員対象）を実施しました。保護者の皆様にはご多用の中ご協力いただき、ありがとうございました。子どもたちが意欲的に学校生活を送っていることや、保護者の皆様が学校の取組を大変肯定的に捉えていらっしゃる事が、アンケートの結果から読み取れました。今後も家庭・地域と連携しながら、さらに信頼される学校づくりに取り組んで参ります。

ところで、今回のアンケート結果と前回（7月実施）の結果を比較してみたところ、向上、改善の傾向が見られる項目は「適切な言葉づかいができています」でした。肯定的評価（「そう思う」と「大体そう思う」を合わせたもの）が10%以上も上昇していました。教職員のアンケートからも、子どもたちが言葉づかいを意識している様子が伝わってきました。

一方、悪化の傾向が見られる項目は「『早寝早起き朝ごはん』ができています」で、特に保護者の肯定的評価が18%



下落していました。子どもたちが健やかに成長していくためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠が大切です。寒い季節ですが、「よく体を動かし、よく食べ、よく眠る」を意識して、生活リズムの向上に取り組んでいきたいものです。